

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	教授	氏名	永嶋 由理子
----	-------------	----	----	----	--------

1. 教員紹介・主な研究分野

- 看護技術の熟達化と思考の関係性に関する研究
平成16年度～平成17年度の科研(基盤研究(C))に引き続き、平成18年度～平成20年度科研(基盤研究(C))の3ヵ年計画で調査及び実験研究進めてきた。平成21年度は、実験方法を見直し、一部修正や追加を加え実施した結果、一定の結果を見出すことができた。この研究結果を踏まえ、平成22年度は看護技術の熟達化を生理学的観点から客観的に解明するため、新たな研究計画を作成中である。
- 在宅酸素療法患者の生活支援に関する研究
在宅酸素療法患者の生活実態と自己効力感の関係性について研究に取り組んでいる。第1回の調査では、HOT患者の生活実態とその問題点を明らかにし、報告書としてまとめた。平成22年度は、調査の結果を踏まえ、具体的な教育プロトコル作成を予定している。

2. 研究活動

①最近の著書・論文

<著書>

- 永嶋由理子,「学習理論」の3つの考えかた.安酸史子編著,目からウロコの新人ナースプリセプティ指導術,メディカ出版,2007.

<論文>

- 永嶋由理子. 看護過程の考え方と進め方(基礎編). 月刊看護きろく,17(1), 75-84, 2007.
- 永嶋由理子. 看護の視点からアセスメントするために(基礎編). 月刊看護きろく,17(2),78-87,2007.
- 永嶋由理子. 看護記録の再考ーアセスメントを生かした看護記録(基礎編). 月刊看護きろく,17(3),84-94,2007.
- 澁野由夏,永嶋由理子. 人工骨頭置換術を受けた高齢者の展開事例. 月刊看護きろく,17(4),61-70,2007.
- 津田智子,永嶋由理子. 癌性疼痛に苦しむターミナル期にある患者の事例展開,月刊看護きろく,17(5), 85-94, 2007.
- 加藤法子,永嶋由理子. 急性増悪を来した高齢肺気腫患者の展開事例,月刊看護きろく,17(6), 57-66, 2007.
- 澁野由夏,永嶋由理子,中野榮子,山名栄子,加藤法子,津田智子. 基礎看護実習Ⅱの実習前・後における看護学生の思考動機の実態. 福岡県立大学看護学研究紀要,4(2), 82-87, 2007
- 加藤法子,永嶋由理子,澁野由夏. 高齢在宅酸素療法患者の自己効力感に影響を及ぼす要因の検討. 福岡県立大学看護学研究紀要,4(2), 64-68, 2007.
- 田中美保子,松本弘子,矢野由紀代,中島壽子,倉地美智子,佐々木美佳,永嶋由理子,澁野由夏,加藤法子. 高齢HOT利用者における自己効力感の実態,日本看護学会論文集:老年看護,37,209-211, 2007.
- 永嶋由理子. 編集:看護実践に活かすフィジカル・アセスメント,臨床看護, 34(4), 2008.
- 永嶋由理子. フィジカル・アセスメントの基礎知識,臨床看護,34(4). 433-454, 2008.
- 澁野由夏. 加藤法子. 中野榮子. 永嶋由理子. 津田智子. 山名栄子. 基礎看護実習Ⅰの実習前後における看護師イメージ変化の比較検討. 福岡県立大学看護学研究紀要,5(2), 89-96, 2008.
- 加藤法子. 澁野由夏. 永嶋由理子. 津田智子. 山名栄子. 中野榮子,基礎看護実習Ⅰの教育効果の検討:実習前後における学習意欲の変化から,福岡県立大学看護学研究紀要, 5(2), 52-60, 2008.
- 津田智子. 中野榮子. 永嶋由理子. 澁野由夏. 加藤法子. 山名栄子,口腔ケアの学内演習における学生の認識の特徴:学生が記述したプロセスレコードの分析を通して. 福岡県立大学看護学研究紀要, 5(2), 43-51, 2008.

②その他最近の業績

<調査研究報告書>

- 永嶋由理子, 澁野由夏, 加藤法子, 田中美保子, 矢野由紀代, 中島壽子, 古川亜貴子, 城戸知美,

倉地美智子, 佐々木美佳, 松本弘子. 在宅酸素利用者の生活及び自己管理能力の実態に関する調査報告書, 1-18, 2006.

- 永嶋由理子, 山川裕子, 安永悟. 看護技術の獲得・熟達化における思考過程深化の解明, 平成 16 年度～平成 17 年度科学研究費補助金〔基盤研究(C)〕研究成果報告書, p. 1-52, 2006.
- 永嶋由理子, 湊野由夏, 加藤法子: 高齢在宅酸素療法患者の日常生活行動及び肺機能の実態とその評価: 高齢在宅酸素療法患者の外来教育プロトコルの開発に向けて, 平成 19-20 年度研究奨励交付金研究成果報告書, 2009.
- 永嶋由理子, 湊野由夏, 津田智子, 加藤法子, 藤野靖博, 於久比呂美. 温度センサーを用いた看護技術のエビデンスの検証: 足浴による温熱効果の検証から. 平成 19-20 年度研究奨励交付金研究成果報告書, 2009.

<学会発表>

- Nagashima Y., Yamakawa, Y. Research on improved performance and greater self-reflection in nursing technology. ICN Conference, Yokohama, 2007.
- 永嶋由理子・山川裕子・湊野由夏. 看護技術の獲得プロセスにおける動作の向上と思考の深まりに関する研究. 日本看護科学学会学術集会, 福岡, 2008.
- 湊野由夏, 藤野靖博, 加藤法子, 津田智子, 於久比呂美, 永嶋由理子. 看護技術の獲得過程における緊張度の検討—反復練習と緊張度の変化から—, 日本看護科学学会, 福岡, 2008.
- 小野寺洋子, 永嶋由理子, 湊野由夏. 看護技術習得過程における看護技術の熟達化と自己効力感の変化: 血圧測定技術に焦点をあてて, 第 14 回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2009.

③過去の主要業績

- 田中美保子, 松本弘子, 河野俊, 湊野由夏, 永嶋由理子. 5 段階尺度マスタ記録と患者目標達成度との関連—患者目標達成度評価の標準化に向けて—, 第 7 回看護情報研究会論文集, 74-7, 2006.
- 湊野由夏, 永嶋由理子, 加藤法子: 在宅酸素療法患者の健康管理行動の実態. 福岡県立大学看護学部紀要, 3(1), 33-37, 2005.
- 高橋清美, 佐藤友美, 加藤法子, 笹尾松美, 湊野由夏, 永嶋由理子, 中野榮子: 看護基礎教育における看護技術教育に関する一考察—臨床における実態調査をもとに—. 福岡県立大学看護学部紀要, 3(1), 39-46, 2005.
- 松本弘子, 田中美保子, 湊野由夏, 永嶋由理子. S 病院における ADL 分類スコアを用いた入院時と退院時の比較検証, 日本看護学会論文集: 看護総合, 36, 200-202, 2005.

5. 所属学会

日本看護学会, 日本看護科学学会, 日本看護研究学会, 日本教育心理学会, 日本協同教育学会

6. 担当授業科目

<学部>

基礎看護学概論・2 単位・1 年・前期, ケアリング論・2 単位・1 年・前期, 基礎看護実習 I ・1 単位・1 年・前期, 基礎看護技術論・2 単位・1 年・後期, フィジカルアセスメント論・1 単位・2 年・前期, 看護過程・1 単位・2 年・前期, 基礎看護実習 II ・2 単位・2 年・前期, シンptomマネジメント論・1 単位・後期・家族看護論・2 単位・2 年・後期, 看護研究・1 単位・3 年・後期, 専門看護学ゼミ・2 単位・4 年・前期, 総合実習・3 単位・4 年・前期, 卒業研究・2 単位・4 年・後期

<大学院>

基盤看護学特別研究・8 単位・1～2 年・通年

7. 社会貢献活動

- 田川市住宅政策審議会委員(2007 年～現在)
- 田川市立病院における看護師卒後研修会講師(2008 年～現在)
- 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 (2008 年 12 月～2009 年 11 月)
- 看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想 (看護学部 FD 委員)

(2009年～現在)

8. 学外講義・講演

- ・ フィジカルアセスメントの理解,訪問看護師養成講習会,2009年8月(計2回)
- ・ フィジカルアセスメントー身体面のアセスメントをするための観察技術ー,看護師卒後研修会,2009年9月
- ・ 看護教育評価,看護師養成講習会,2009年10月～(計30時間).
- ・ 看護過程と記録の考え方,総合せき損センター卒後研修会,2009年11～12月
- ・ フィジカルアセスメントの実際,北九州総合病院卒後研修会,2009年12月・2010年2月

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員